

平成28年 卒業研究論文

疑似ラインセンサーを用いた
SPレコード音検出

北海学園大学工学部 電子情報工学科
魚住研究室

4513213

クーン・トビアス

2016年10月11日

目 次

第 1 章	TODO	2
第 2 章	Document Flow	3
第 3 章	はじめに	4
第 4 章	実験	5
第 5 章	問題分析	8

第1章 TODO

These are the things we need to get done:

- 実験環境について説明する []
- 実験環境の図を描く [OK]
- データの流れ、装置の電氣的模式図を描く []
- こんな実験環境でデータを集めると何が問題になるか説明する []
- 問題を説明する幾何学図を描く [OK]

第2章 Document Flow

Here some thoughts on the flow of this document:

- explaining the setup.
 - 物理的配置
 - 電氣的配線（必要？）
- explaining the ways of getting the data.
- The author chose method 疑似ラインセンサ！
- explaining the problems.

問題 1 : 重なり部分 文章が来るぜ。

問題 2 : 湾曲修正 音溝が曲がっている。それを直す修正。

- showing the solutions.

疑似ラインセンサ 疑似センサの利点について説明する

0 : ソフトウェアの話 ここでソフトの模式図を挿入

1 : 物理的距離検出 アルゴリズムについて説明する

2 : ライントレースアルゴリズム アルゴリズムについて説明する

第3章 はじめに

第4章 実験

具体的な物理的な実験環境について説明する。

- 実験環境の模式図
- 電氣的なところを説明する模式図
-

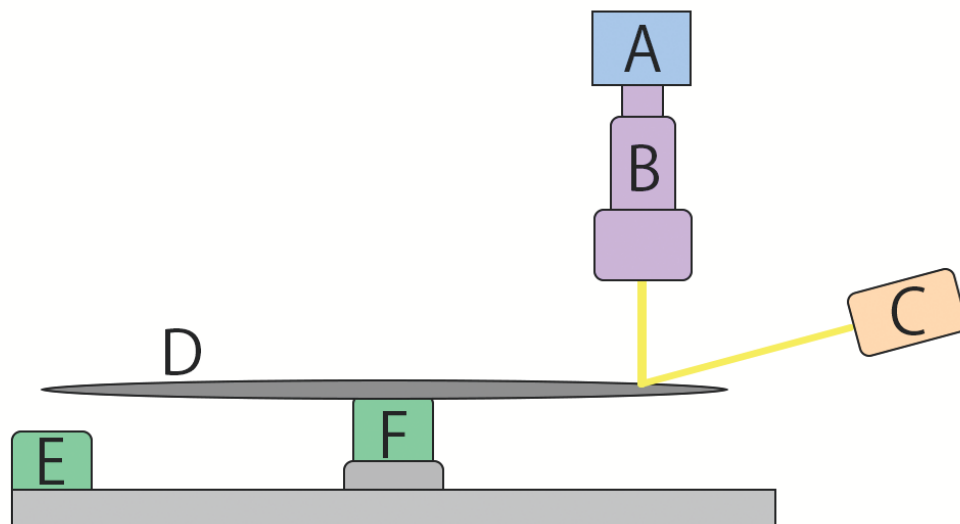


図 4.1: 実験装置の設定

文章の中で（図 4.1）ってやればいいのかな。

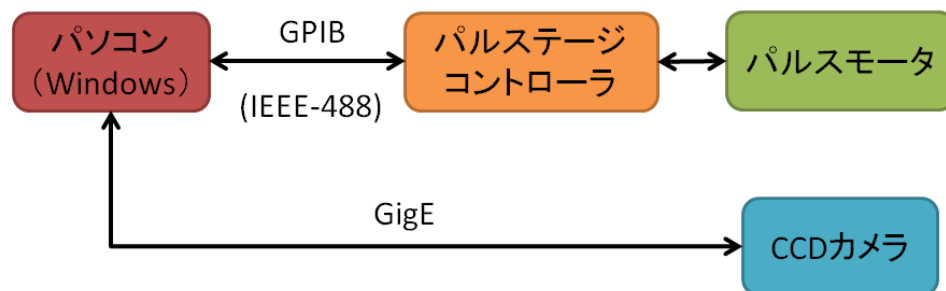


図 4.2: 実験装置の設定

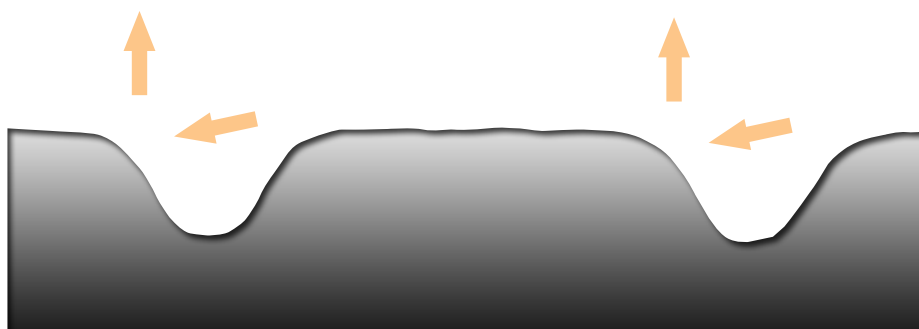


図 4.3: 反射の仕方

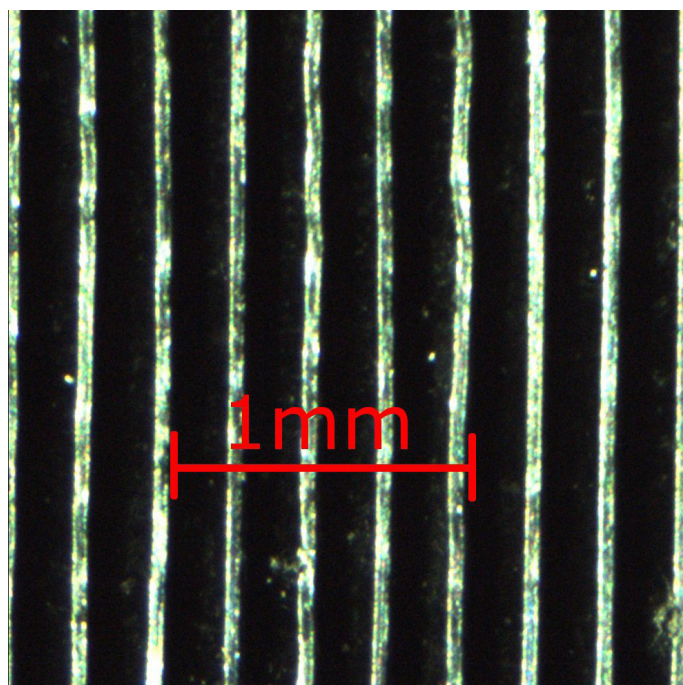


図 4.4: jpeg Test

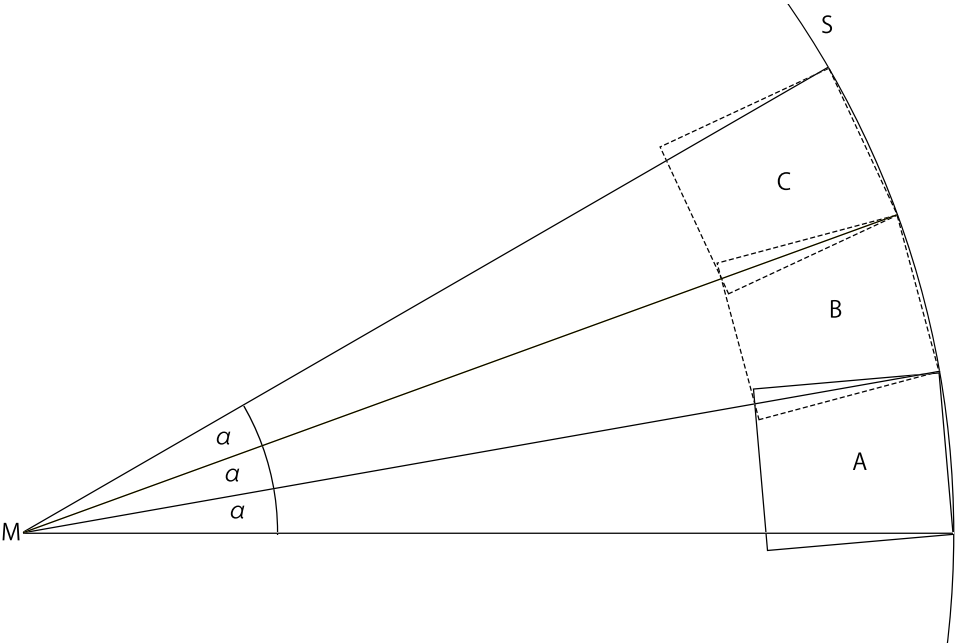


図 5.2: Overlap Problem 2

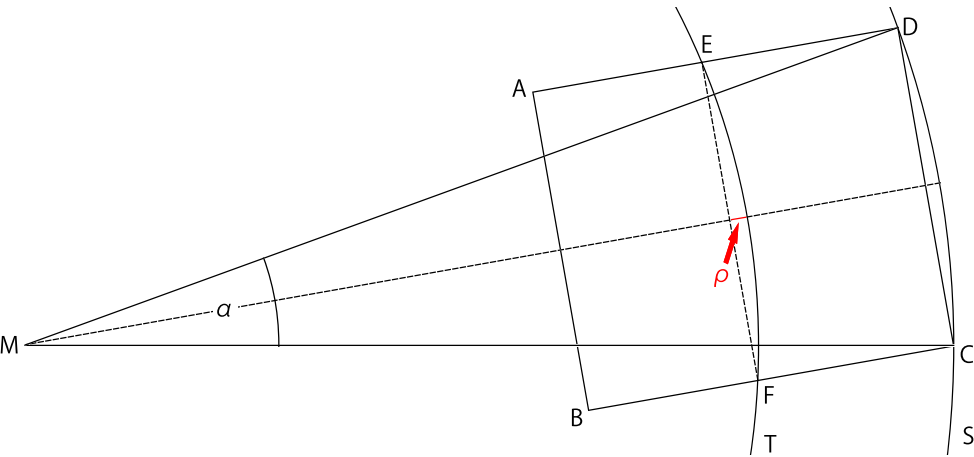


図 5.3: Curve Problem

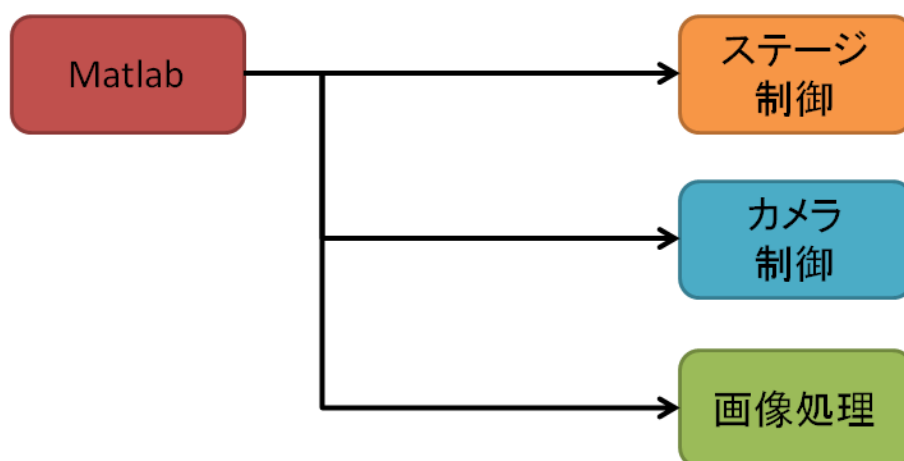


図 5.4: Prog Setup Old

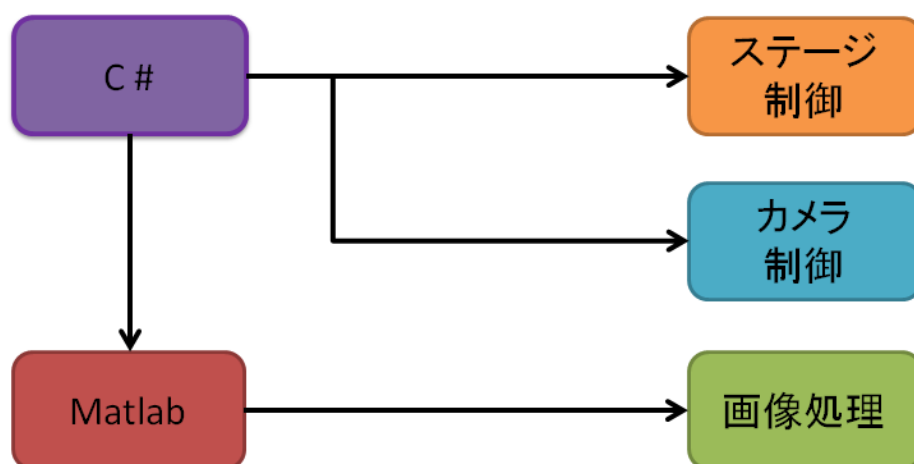


図 5.5: Prog Setup New